



【Ⅲ. 指標による評価】

評価		理由等	平均評価
i	概ね達成	総合的な学習の時間における地域おこしの学習等で地域人材が活用されたことにより、目標値を概ね達成した。なお、27年度実績値が28年10月確定予定のため、27年度の目標値と実績値は26年度の数値を記載している。	達成
ii	概ね達成	地域人材の活用による運動部活動の指導が周知されたことから、目標値を概ね達成した。	
iii	概ね達成	体験活動が中心であった教室においても補充学習が実施され、全ての教室で活動内容のバランス化が図られ、地域が一体となって子どもを見守り育てる環境整備が進んだことから、目標値を概ね達成した。	
iv	概ね達成	小・中学校施設の耐震化を積極的に働きかけた結果、小・中学校では目標値を概ね達成した。高等学校、特別支援学校については、23年度に耐震化率100%となっている。	
v	達成	津波浸水予想区域内に所在する学校に対し、危機管理マニュアルの見直しとセットで防災訓練を実施するよう指導し、目標を達成した。	
vi	達成	私立学校施設の耐震化を積極的に働きかけた結果、目標値を達成した。	

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールや目標協働達成校の指定等により、学校・地域の連携は年々図られてきている。</li> <li>・地域人材を活用した放課後等の活動に11,229人の児童が参加した。(H26年度比+277人)</li> <li>・中学校の運動部活動で612人の地域人材を活用した。(H26年度比+13人)</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大分教育事務所管内の10小学校においてバス巡見を実施し、郷土の歴史遺産や文化財を実際に見る・触れる体験活動を行うとともに、地域の史談会等と協力し小学生向け郷土史教材を作成し授業等で活用することで、郷土の歴史や先人に対する興味・関心を喚起できた。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得世帯に対する奨学金の給付について、各学校において支払事務を行う等事務の効率化を図るとともに、教科書費や教材費等授業料以外の教育費負担の軽減を図った。</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職支援員の配置など進路指導の充実支援に取り組んだ結果、私立高校生の就職内定率は97.9%となり、全国平均を0.2ポイント上回る高水準を維持できた。</li> </ul>
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立学校15校26棟において、経年による学校施設の損耗や機能低下の復旧措置として大規模改造工事を実施した。</li> </ul>

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価
			総合評価
①	放課後・土曜学習支援事業	55,025	A
	大分っ子体力向上推進事業	20,938	B
③	公立高等学校等奨学金給付事業	167,881	A
④	私立学校運営費補助	3,227,328	A
	私立幼稚園運営費補助	966,492	A
⑤	県立学校施設整備事業	2,574,671	A
	私立学校施設耐震化促進事業	328,936	A
	私立幼稚園施設耐震化促進事業	44,600	A

## 【VI. 施策に対する意見・提言】

○ふるさとの魅力発見・継承推進事業「県民フォーラム」アンケート(H27.10)

- ・課外授業でふるさとのことを学べることは素晴らしい。子どもたちにもっと大分のよさを理解してほしい。
- ・大分にずっと住んでいるのに知らない歴史が多くある。子どもと一緒に歩き、大分のよさを見つめ直したいと考えるきっかけとなった。

○第2回「教育」ネットワーク支援者研修会(H28.2)

- ・放課後チャレンジ教室は長年同じ人物が支援を行っているが、高齢化が進んでいるため、新たな地域人材の確保が急務である。

## 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	成果と今後の施策展開
A	<p>・総合的な学習の時間における支援や運動部活動の指導、放課後子ども教室の活動などに地域人材を積極的に活用する取り組みを推進したことにより、地域が一体となって子どもを見守り育てる環境の整備が図られた。今後は、子どもたちへの補充学習や体験活動の機会拡大に向け、新たな地域人材の確保に努めるとともに、地域人材である支援者自身の生きがいをづくりや地域コミュニティの再構築についても促進していく。</p> <p>・先哲史料館等での体験学習や郷土史教材による学習を通じ、子どもたちが郷土の先人や歴史・文化等について意欲的に学び発表するなど、郷土に愛着と誇りを持つ学習が広がりを見せつつある。今後も、郷土史教材等の作成や教材学習の促進など、郷土の歴史や文化などに関する学習をさらに推進していく。</p> <p>・学ぶ意欲のある高校生が経済的理由によって就学の機会が失われることがないよう、奨学金給付による教育費負担の軽減を図るなど、教育環境を整備することができた。今後も、生徒が充実した教育を受けることができるよう、教育環境の整備を進めていく。</p> <p>・各私立学校では、創立者が掲げた「建学の精神」に基づき、個性豊かで特色ある学校づくりを進めている。今後も、各学校の魅力ある学校づくりを評価するとともに、その取り組みがさらに加速するよう支援する。</p> <p>・公立学校については、やむを得ずH28年度に繰越となった1小学校を除く全ての学校施設で耐震化を完了し、私立学校施設についても90%を超える耐震化目標を達成するなど、安全・安心な学校づくりの推進が図られた。今後は、県立学校において防災士の養成・配置を進めるとともに、学校防災アドバイザーの指導助言を得て危機管理マニュアルの改訂を完了させるなど、児童生徒が安心して学習活動に励むことができるよう、さらなる防災対策の推進を図っていく。</p>